

区 分	基 本 研 修
研修コード	2 1 0 5 0 5
事業主管	栃木県総合教育センター 研 修 部 TEL 028-665-7202

## 教職10年目研修（小・中学校）

- 1 目 的 教職10年目の段階に即応した教育に関する知識・技能・態度等を身に付け、教員としての資質の向上を図る。
- 2 対 象 小・中学校の10年目に該当する教員
- 3 研修時間 9：30～16：00（受付 9：00～9：30）
- 4 研修内容等

区分	期 日		研 修 内 容	会 場	講 師 ・ 助 言 者 等
	月 / 日	曜			
第1日	5 / 24	月	研修オリエンテーション 講話 「10年目教職員への期待」 「児童・生徒指導の意義とその在り方」 「今、求められる学習指導の在り方」 教科別分科会(1) ・学習指導上の課題 ・教科別分科会年間計画 ・課題研究の進め方 テーマ設定の観点	総合教育センター	県教委教育長 学校教育課職員 総合教育センター職員
第2日	6月中		公開授業A 授業研究会 課題研究テーマ設定	所属校	各学校職員
第3日	7 / 23	金	講話 「人権を尊重した教育活動の展開」 教科別分科会(2) ・学習指導の基礎・基本 ・学習指導の自己点検・自己評価 ・課題研究テーマ及び内容の検討	総合教育センター	大学等職員 学校教育課職員 総合教育センター職員
第4日	8 / 9	月	教科別分科会(3) ・学習指導の工夫 ・教材・教具の工夫と活用 児童・生徒指導、学級経営に関する研修 下記の中から一つ選択 A「構成的グループエンカウンター」 B「アサーショントレーニング」 C「ロールプレイング」 D「事例研究」		学校教育課職員 総合教育センター職員
第5日	夏季休業中		道徳教育 ・資料分析、学習指導案作成 ・模擬授業及び研究協議	各教育事務所	各教育事務所長

区分	期 日		研 修 内 容	会 場	講 師 ・ 助 言 者 等
	月 / 日	曜			
第 6 日	夏 季 休 業 中		社会体験等研修（1日間） 下記の中から選択 ○福祉施設体験 ○民間企業体験 ○生涯学習関連施設体験 ○ボランティア活動体験	各 研 修 場 所	各活動場所担当者
第 7 日	9 / 16	木	講話 「教育関係法規」 「学級における発達障害のある児童生徒への支援」 教科別分科会(4) ・ 課題研究の中間報告 ・ 学習指導と評価の一体化 ・ 学習指導案・評価計画の検討 ・ 模擬授業及び研究協議	総 合 教 育 セ ン タ ー	教職員課職員 学校教育課職員 総合教育センター職員
第 8 日	9月 ～ 12月		異校種体験研修（受入校における実践） ・ ティーム・ティーチングによる保育、授業の在り方 ・ 学校理解と幼児・児童・生徒の実態把握 ・ 異校種における保育、学習指導、幼児・児童・生徒指導、学年・学級・ホームルーム経営の理解	各 研 修 場 所	各学校職員
第 9 日	6月 ～ 12月		選択研修 下記の機関又は団体等が主催する研修及び研究大会等から一つ選択 ○栃木県教育委員会、各教育事務所、各市町教育委員会、各教育研究所 ○宇都宮大学及び教育学部附属幼稚園・小学校・中学校 ○栃木県小・中学校教育研究会 ○栃木県連合教育会 ○栃木県総合教育センター	各 研 修 場 所	各研修担当者
第 10 日	1 / 6	木	教科別分科会(5) ・ 課題研究成果発表会 ・ 研修自己評価 講話 「今、教員に求められるもの」	総 合 教 育 セ ン タ ー	大学等職員 学校教育課職員 総合教育センター職員

教科別分科会（1）～（5）では、以下の中から一つ選択して研修を行います。

小学校：国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、特別支援教育

中学校：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）、保健体育、英語、特別支援教育  
その際、以下の点に留意して選択してください。

- ・ 教員自らの課題や適性、得意分野を再確認し、各自が資質・能力の向上を図れるように選択すること。
- ・ 公開授業を行うため、授業が実施できるように選択すること。